

市政だより

11月 (No.243)

— おもな内容 —

- 東口駅前広場基本計画..... 2
- 上水道第七期拡張事業..... 3
- 今月のスポット、16万市民の声..... 4
- カメラ・ニュース、かしい消費者..... 5
- 第二長生橋(仮称)の名前決定..... 6
- 町内会長会議..... 6
- 市政モニター会議、東西南北..... 7
- お知らせ..... 8

編集・発行/長岡市広報課(電話代表35-1122) 昭和49年11月1日



一周年を迎えた長岡市立劇場

「すばらしい劇場ができて、長岡っ子の自慢が増えた……。」「長岡のまちの魅力が一段と……。」こんな多くの市民の声が広がるなかで、文化の殿堂・長岡市立劇場が開場して満一年が過ぎました。

そしてこの1年間、すぐれた音響効果と照明設備のととのった大ホールの使用は260回を越え、入場者は16万6千人あまり、全

市民が1回ずつ入場したことになります。

文化水準の高い市民生活の輪が広がることを願って誕生したこの市立劇場は、これからも、皆さんから愛され、親しまれ、積極的に活用していただけるものと思います。

(写真)大照明が浮ぶ広い共用ロビーで開演を待つ観客と、噴水と調和のとれた劇場の全景。

テレビ・ラジオ 放送ご案内

TV「長岡市だより」

- NST新潟総合テレビ(UHF35ch) 毎月 第2・4・5日曜日午前8時5分から15分間
- BSN新潟総合テレビ(VHF5ch) 毎月第一日曜日午前8時から15分間。毎週日曜日午前9時44分から1分間
- ラジオ放送「長岡市だより」(二〇六〇キロヘルツ) BSN新潟放送ラジオ(二〇六〇キロヘルツ) 土・日曜日を除く毎日、午後4時から3分間

市道の掘きく工事の規制

降雪期に入りますので、次のおり市道掘きく工事の規制をいたします。ご協力ください。

- ・舗装道路：昭和49年11月15日から昭和50年3月15日まで
- ・その他の道路：昭和49年12月15日から昭和50年3月15日まで

税務・住宅・法律等の 無料相談にどうぞ

長岡商工会議所・長岡中小企業相談所では、商工会議所で毎月の日を相談日と決め、みなさんの各種相談に無料で応じることになりました。お気軽にご利用ください

- 中小公庫相談：1日、税務巡回相談：7日、婦人対象相談：9日、住宅相談：10日、税務相談：12日、不動産相談：13日、特許相談：15日、法律相談：第三水曜日、雇用相談：第三水曜日

なお、相談日が日曜・祭日にあたる場合は、翌日になります。

互恵文庫から

- ▼子どものついで
 - ・11月9日 物語の中の動物たち
 - ・11月16日 柿川にすむ生物たち
- ▼文芸講演会
 - 日時：11月19日午後7時18時
 - 会場：商工会議所五階ホール
 - 講師：SF作家 星新一先生
 - 演題：「日常の中の発見」

なお、講演会の後サイン会を開きます。お気軽にお出かけください。

▼読者のついで
 日時：11月22日(金)午後7時19時
 内容：武田泰淳著「愛」のかたちを読んで

中越青少年文化センターから

▼子どもおたのしみ会
 日時：11月10日午後1時30分から
 内容：腹話術、手品、かげ絵など

▼星空を見る会
 日時：11月13日午後7時から
 内容：秋から冬の星座、アントロメダ星雲、変光星アルゴルとミラの確認など

なお、天候不良のときは、プラネタリウムで行います。

▼将棋大会
 日時：11月23日午前10時から
 内容：今回は第三回目になります。ふるってご参加ください。

科学博物館から

▼昆虫相を調べる会
 栖吉川の昆虫相を調べます。
 期日：11月10日(日)(雨天中止)
 集合：越後交通バス栖吉線終点9時(バス長岡駅東口発8時30分)
 栖吉着8時48分

米倉 加年 大滝 秀治 今出川 西紀 宇野 重吉

「新劇」赤ひげ

12月13日(金) 長岡市立劇場

PM6:00開演

■原作：山本周五郎「赤ひげ診療録」

■脚本：倉本聰 ■演出：宇野重吉

■前売券：A指定席2,200円 B指定席1,800円 C指定席1,200円(当日券は各200円増)長岡市立劇場・市内各プレイガイドで発売中

特別福祉手当の新支給

精神または身体に重度の障害のある方に、いま特別児童扶養手当および障害福祉年金を支給していますが、新たに身体機能障害と精神薄弱とが重複しているために常時特別の介護を必要とするものに月額三千円の特別福祉手当が支給されます。

この手当は、本人または配偶者扶養義務者の所得制限などがあり、また、該当される方は保険年金課(市役所二階番三三三)に二にお問合わせください。

戦傷病者戦没者遺族 援護法の一部改正

満州事変以降の戦没者の妻に対し六十万円、父母に対し三十万円の国債が次に該当する方に支給されることになりました。

(1)妻の要件：昭和6年9月18日(12年7月6日までの間)による戦没者の妻で、昭和49年10月1日現在

在公務扶助料または遺族年金を受給していること。

②死亡理由が期間内における公務上であり、かつ公務員の死亡が昭和48年3月31日以前であること

③父母の要件：①前記の要件のほか、戦没者と氏を同じくする最後のの子を失ったものであること。

④昭和49年9月30日までの間に戦没者と氏を同じくする自然血族である子も孫も有したことがないこと

なお、くわしいことは社会福祉事務所社会課(番三三三)一〇八一三へお問い合わせください。

長岡吹奏楽団記念公演

長岡吹奏楽団では、市教育委員会と共催で、全日本吹奏楽コンクール関東大会の出場を記念して、公演会を開きます。

日時：11月27日午後6時30分

会場：長岡市立劇場大ホール

入場料：小・中学生 四百円 一般 五百円

また、宮内・西中の吹奏楽部もこの公演会に参加演奏します。

11日から「税を知る週間」

11月11日から「税を知る週間」が始まります。

長岡税務署および市役所では、いつでも皆さんの苦情や相談に応じています。お気軽にご相談ください。

銃砲刀剣類は届出を忘れずに

刀剣類や古式銃砲は、美術品や骨とう品ということで、自由に所持されがちですが、所有者の登録が必要で、また所有者の変更のときも登録先都道府県の教育委員会(用紙は教育委員会社会教育課一本町三三三)一〇四三七にあり、届出を忘れずに。

長岡吹奏楽団記念公演

長岡吹奏楽団では、市教育委員会と共催で、全日本吹奏楽コンクール関東大会の出場を記念して、公演会を開きます。

日時：11月27日午後6時30分

会場：長岡市立劇場大ホール

入場料：小・中学生 四百円 一般 五百円

また、宮内・西中の吹奏楽部もこの公演会に参加演奏します。

11日から「税を知る週間」

11月11日から「税を知る週間」が始まります。

長岡税務署および市役所では、いつでも皆さんの苦情や相談に応じています。お気軽にご相談ください。

近づく冬に備えて

し尿の汲取り 申込みは早めに

雪が降り初めると、し尿の汲取りの申込みが殺到しがちです。

申込みが集中しますと、ご希望どおりの汲取りができなくなり、お互いに大へん迷惑になります。

近づく冬に備えて、お早めに汲取りを済ませておきましょう。

雪の中のし尿汲取りは大へんです

参加したい方

はたちのみなさん、同じ仲間と語り合い、若いエネルギーを大いに発散しましょう。

対象：昭和29年4月2日(30年)4月1日生まれの方

会場：厚生会館

時間：午後5時30分～8時30分

定員：100人

申込：11月18日までに中央公民館(一本町三丁目、番三三三)一〇四三七へ

公給領収証を受けとりましょう

東口駅前広場

基本計画まとまる

広さは八千五百平方メートルに

新長岡駅、東口駅前広場の基本計画がまとまり、先月五日、都市計画協会から発表されました。これによると、東口駅前広場の面積は、現在の四倍以上に拡張され、また、駅から東に向いて伸びる都市計画街路が台町川橋線も、橋田屋町稲葉線までの間が幅三十二メートルに拡張されることになりました。

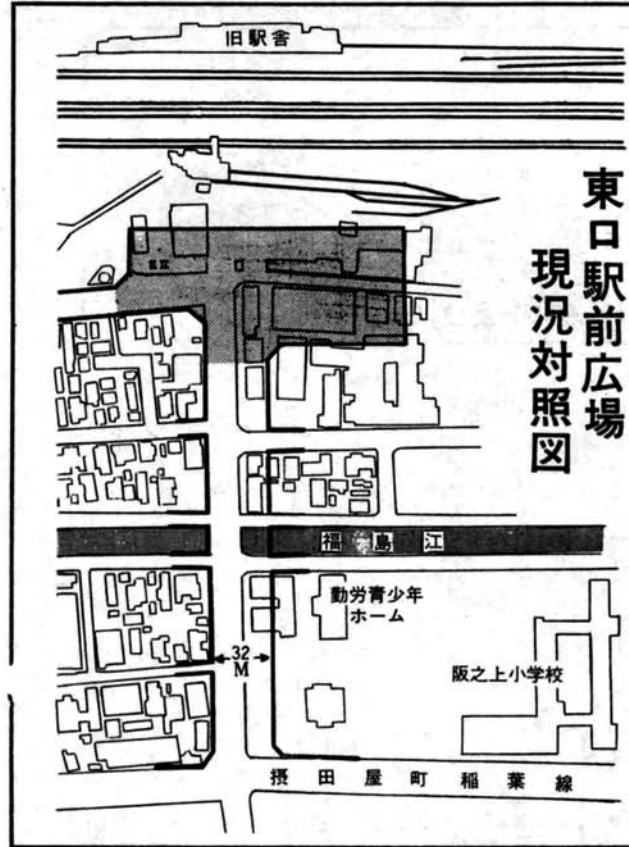
事業費は十三億円

上越新幹線の開通を目前にひかえている長岡市は、かねてから駅前広場を、新しく建設される新長岡駅にふさわしいものにするよう、基本計画の策定を財団法人都市計画協会に依頼して、昭和四十七年の七月に東西両駅前広場の基本計画を発表、そのうち、西口広場の拡張計画は、すでに昨年の十月、県の都市計画審議会承認

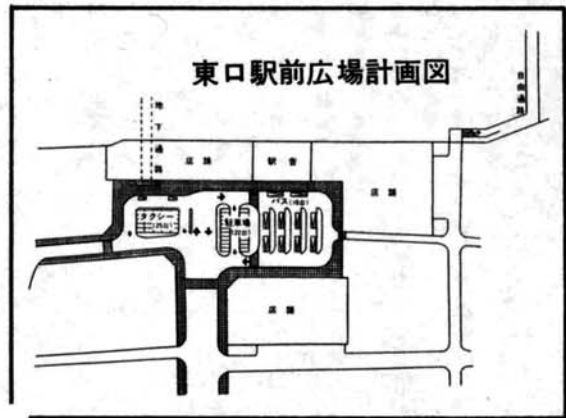
されています。けれども、東口については、その後①長岡ニュータウンの建設構想が具体化してきた②日本海新幹線の長岡駅乗り入れが有力になった③商業近代化構想がでてきた④越後交通の鉄道部門が廃止される⑤民間による駅前周辺の大規模な開発が計画されているなど、情勢が大きく変化したため、改めて計画をたて直したものです。

なお、計画の策定にあたっては昭和六十五年の長岡市の人口を二

東口駅前広場 現況対照図



東口駅前広場計画図



十五万人、東口の利用者を一日一万七千人に予測して、計画どおりに実施されると、事業費は、用地買収費などを合わせて十三億円にのぼる見込みです。市ではこの計画を都市計画審議会にはかり、新幹線の開通までに完成させるよう努めることにしています。

また、東西の連絡道路は二本、東口の地下道延長費付近に、東口の出改札口は、まだ駅舎の設計が確定していないため、詳しいことは決まいませんが、今のところ、東口駅前広場に面して出改札設備を設ける案と、橋外コンコース(自由道路)を設けて切

ように南側にタクシーの駐車場二十五台分、中央に自家用車駐車場二十二台分、そして北側にバスのスペース十台分を設け、通路はすべて右回りの一方通行にすることにしています。

また、東西の連絡道路は二本、東口の地下道延長費付近に、東口の出改札口は、まだ駅舎の設計が確定していないため、詳しいことは決まいませんが、今のところ、東口駅前広場に面して出改札設備を設ける案と、橋外コンコース(自由道路)を設けて切

文化の日の十一月三日、晴れの長岡市表彰が、また十八日には教育委員会表彰がそれぞれ行われ、次の方々が表彰されます。

長岡市表彰

鷲尾正身(十日町)：多年公民館長として、社会教育の向上に尽くされた功績
笠原政雄(深沢町)：昔話の優れた伝承者としての功績
高橋ナオ(村松町)：昔話の優れた伝承者としての功績
鷲尾英一(表町)：多年危機物施設の防災と町内会発展に尽くされた功績
☆自治行政に尽くされた功績
・町内会長十五年以上……七人
・町内会役員十五年以上……二人
・民生委員十五年以上……四人
・保護司十五年以上……三人
・学校歯科医二十五年以上一人
・消防団員三十年以上……三人
☆同一職場に三十年以上勤続された功績……二百七十一人

教育委員会表彰

故味方正作(中島町)：永年、学校医として児童生徒の健康増進と保健管理に尽くされた功績
新井正和(昭和)：永年、長岡教育放送局の番組制作と放送劇団の育成に尽力され、長岡教育放送局の発展に尽くされた功績
高野傳一郎(成願寺町)：永年、地域子ども会の結成、育成に努めるなど青少年健全育成事業の推進に尽くされた功績
高橋又司(黒津町)：永年、子ども会活動を通じて青少年健全育成事業の推進に尽くされた功績
小室肇(芹川町)：永年、下川西公民館長として地域社会教育活動の推進に尽くされた功績
池田勉九郎(才津町)：永年、深才公民館長として地域社会教育活動の推進に尽くされた功績
山田千代松(五反田町)：永年、関原公民館長として地域社会教育活動の推進に尽くされた功績
青山ナヲ(学校町)：永年、少年補導員として補導活動を続けられ、青少年健全育成の推進に寄与された功績
池上竹代(中島六)：永年、少年補導員として補導活動を続けられ、青少年健全育成の推進に寄与された功績

上水道

第七期拡張事業に着手

来年から川西地区を主体に

昭和四十七年から四十八年までの二年間進めてきた第六期拡張事業の終了により、川東地区のほとんどの地域に上水道が通水されましたが、今度は、北陸、関東自動車道や、新産業センター長岡ニュータウンの建設など大きな変化が予想される川西地区に目が向けられ、いよいよ来年年度から川西地区を主体にした第七期上水道拡張事業が始まることになりました。

この事業は、昭和五十年から五十九年までの十年計画で、事業費百四十八億五千万円を投じ、長岡市のほぼ全域に給水しようという長期の展望に立つた大規模な事業です。

この事業が完成すれば、これまで簡易水道や井戸水に依存していた地区も上水道が通水されることになり、いままでも悩まされ続けてきた水源の水量低下や鉄分等による

生活環境の向上による水の需要増大に対処

現在長岡市は目の前に迫った高速交通時代に対応するまわりの交通を積極的に進めています。市立劇場、市営スキー場、また大規模な長岡ニュータウン計画などもその一つです。そのため将来の発展はめざましく人口の大幅な増加や生活水準の向上が予想され、水の需要もそれに伴って増大することが必然です。

この第七期拡張事業は、そのような水の需要に対処するために進められるもので、さきを買取した日産化学工場の取水施設と用地、さらに日越地区の高台に確保した

配水池用地を活用して、昭和六十年を目標に長岡市のほぼ全域に給水しようというものです。

五十六年には大島に新浄水場が完成

まず初年度の来年は、五十一年に開校が予定されている技術科学大学院とともなく着工される新産業センターに配水管を敷設します。五十一年には新浄水場(大島)の工事に着手し、五十四年には一部地区にこの新浄水場からの通水が開始され、五十六年には九万六千の浄水能力を持つ新浄水場が完成します。

この新浄水場の完成により川西地区のほとんどに通水が可能となるほか、川東地区の水需要の増加にも対応することができるようになり、長岡市は、この新浄水場九万六千と妙見浄水場二万三千、中島浄水場二万四千、柿、栖吉浄水場二万三千、を合わせると、実に十五万を超える浄水能力を誇るようになるわけです。

川東・川西両地区の相互融通性などが特徴

この第七期拡張事業の特徴としては次の点が上げられます。
①新浄水場の一日最大給水量は、八万七千五百リットルで、この浄水場から川東地区、川西地区の両地区に給水できますが、長岡ニュータウン

浄水場名	現在浄水能力(≒7日)	昭和60年度(≒7日)
新設浄水場	—	96,000
妙見浄水場	33,000	33,000
中島浄水場	24,000	24,000
柿浄水場	2,700	2,700
栖吉浄水場	300	300
その他	7,312	—
計	67,312	156,000



第7期拡張事業で大いに活躍が期待される取水施設(大島地区)

【感謝状】
五十嵐清書(才津町)：長岡市立西中学校に校歌、生徒会歌の額などを寄贈された功績
長部栄作(才津町)：永井四男也(才津町)：遠藤幸美(福田町)：長岡市立西中学校にグラントピアノを寄贈された功績
鳥倉正治(市川市)：長岡市立浦瀬小学校に創立百周年記念碑を寄贈された功績
内山善三郎(学校町)：長岡市立互立専文庫に貴重な図書を寄贈された功績
長岡ロータリークラブ：在宅心身障害児教育のための巡回訪問用自動車を寄贈された功績

基本計画

計画目標年次	昭和60年度
行政区内推定人口	191,448人
計画給水区域	長岡市内一円
計画給水区域内人口	187,238人
計画給水人口	181,500人
計画一日最大取水量	156,000 m ³
計画一日最大給水量	141,500 m ³
計画一人一日最大給水量	780 l
事業費総額	14,850,000千円
事業施行年度	10カ年間(昭和50年度-昭和59年度)

「大手大橋」に決まる

東西の調和と躍進を象徴

輝かしい未来に向けて躍進する長岡を象徴したというテーマで、市では仮称第二長生橋の名前を募集していましたが、長岡市内のみならず、県内外にも大きな反響を呼び、応募総数八千七百六十一通、その種類二千六百八十四種にも達する応募ハガキが寄せられました。

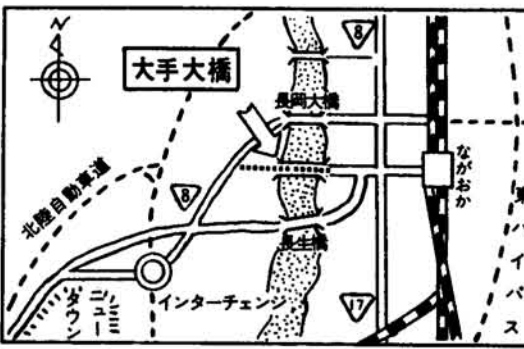
名称選定委員会(別記)では、応募されたみなさんの意志を検討しながら一枚一枚慎重に審査した結果、その名称を全員一致で「大手大橋」(おとおおはし)とすることに決定しました。

大手大橋の大手は、川東地区と川西地区がしつかりと手を結ぶという調和のとれた躍進を表現したもので、明日に向けて大きく飛躍・発展する長岡市を象徴したものと見えましよう。

活発な意見の交換 今年二回目の町内会長会議

入選者の抽選会は、11月18日、厚生会館で、応募ハガキのうち「大手大橋」は全部で二百二十八通が寄せられましたので、市では来る十一月十六日(土)午後二時から厚生会館中ホールで応募者のみなさんをはじめ報道関係者の立合いの抽選会を開き、入選者を決めることにしました。

入選者には、市政だより八月号でお知らせしたとおり、特選一名にスキー一式(市営スキー場リフト券付)、準特選二名に自転車(軽快車)、入選四名に国民百科辞典(平凡社九巻)が贈られることになっております。多数のみなさんのご参加をお待ちしています。新しく市民のみなさんの手で命



去る10月2日、今年度の町内会長会議が開催されました。今回の会議は、小林市長から長岡ニュータウン計画など当面する大型事業の概要報告があったあと、長岡市全体にかかわる問題をテーマに活発な論議が交わされました。市長の説明、質疑、応答の形で以下そのあらましをご紹介します。

12月議会に提案へ
ニュータウン建設の申請

長岡ニュータウンの建設計画は関係者をはじめ市民のみなさんの協力できわめて順調に進んでおり、地域振興整備公団の第一号事業に内定していること、

今後の予定としては、地域振興整備公団から正式に事業決定をもらうための果会、市会の議決

名されたこの大手大橋の建設は、今年度果と市の予算でそれぞれ五百万円の調査費が計上されています。市は今後、果と協議して、一日も早くこの橋が建設されるよう努めてまいりますので、みなさんのご協力をお願いいたします。

名称選定委員
国立国会図書館長 宮坂 完孝
建設省北陸地方建設局長
新潟県土木部長 京坂 元宇
長岡市長 水野 正信
長岡市議会議長 小林 孝平
高田 俊夫

が必要なので、12月中旬にこの作業を進めたい。来春には現地事務所が建設される見通しである。

ニュータウンの建設にあたってはできるだけ具体的な計画により地権者や周辺地区とよく話し合っ進めてほしい。

施設の建設など具体的なものは公団で進めることになるが、地元の意向を無視してはできない性格のものであり、十分みなさんと話し合っ進めたい。

市立劇場隣りに建設することが決まっている市役所の新庁舎は、来年度着工、五十二年完成を目標に計画している。

長岡市は、大きく変わろうとする意向が、地道な道路舗装も積極的に進めてほしい。

まもなく降雪期を迎えるが、児童の通学路は優先的に除雪すべきである。

通学道路の除雪は優先的に考えている。これは大量の降雪で難折り返し、これからの計画に十分折り込んだりしていきたい。道路舗装は市政のバランスを考えながら積極的に進める。

河川公園に
軟式野球場を建設

陸上競技場の建設は長岡市だけでなく中越地区全体から待望されている。昭和五十一年までに競技施設と土手公園は建設完成させたい。また河川公園は建設中の低水路護岸工事とあわせて進める。



長岡ニュータウン計画 緑をゆたかに 市政モニター会議から

去る10月19日に、今年度2回目の市政モニター会議が開かれ、市政全般について熱心な意見の交換が行われました。この意見の中から、いくつかをひろって、ご紹介することにいたします。

ニュータウン計画に 真剣な意見

なかでも、地方中核都市長岡の新しい開発・発展の核となるニュータウン建設計画については、ニュータウンの建設によって周辺の地域は、どのように変わるのでしょうか。「人工の緑でなく、自然の緑をできるだけ残して欲しい」と、多くの意見が出され、市のニュータウンの建設によって周辺地域の生活環境も同時に向上させます。また、開発する地域は全体の五十パーセント程度にとど

はじめに、小林市長が「長岡市は、現在最も重大な転換期にさしかかっており、市としては一生懸命に努力していますが市民の皆さんのご協力と市政に対する絶えまない監視があつてこそ市政の発展が望めます」とあいさつしたあと、さつそく会議に入りました。

市政モニターは、年齢・職業など幅広い層の方々が構成されていますので、出された意見も市政全般の問題から生活に密着したきめ細かい問題まで多方面に渡るものでした。

め、緑を多く残します」という説明にうなづきながら、真剣な話し合いが行われました。

市民一人一人が
市政に協力を

また、「地下水のむだな使用が見られるが、地盤沈下の恐れもあるので、みんなで協力して地下水を大切にしなければ」という意見や、「市にはかりおぶさつて欲しい。私たち市民もボランティア活動などに積極的に参加するようにしたい」などの意見が出され、市政への協力がうかがわれました。

火の元に注意を — 秋の火災予防運動 —

ことしも、火災の多発期を迎えて11月26日から12月2日までの一週間、全国一っせいに秋の火災予防運動が繰りひろげられます。

ことしの火災予防運動は、火災発生原因の約一割を占める暖房器具による火災の防止を目的としています。

暖房器具の取扱いに注意

寒さが厳しくなると、どこにのこ家庭でも、石油ストーブや電

みんなが参加を
長岡まつり

「長岡まつりに、みんなが自由に参加できる催しものを、ぜひ取り入れて欲しい」と若いAさんの意見。Aさんは、日本一の大花火。にふさわしい全市民が参加できる祭りにしたいと話していました。

このほかにも、道路や下水の問題、福祉の問題、博物館や互尊文庫の利用についてなど、多くの意見が出され、予定された時間を一時間近くも延長しました。

ふるさと川 (10)



「おとめ石」で有名な上流

「た」と山中三軒家でも住めば都よ わがさとよ (長岡葛句)

こんな面白い文句がびたりするような真木部落(七軒)昭和三十一年に下山)を通じて、絶景をみせる「不動滝」をつくりながら下る真木川。この真木川と、花立峠の沢を流れて下る栖吉川の源流は栖吉町風谷(ふうや)地区で合流しています。

ちよと、風谷山の中にはさむようにして、せわしい旅、を続けるこの二本の沢水は、どちらも鍬山が源で、有名な「おとめ石」の産地として広く知られています。この「おとめ石」の乙女(おとめ)石とも、お止(と)め石ともいわれ、お止(と)め石に落ちたことから、藩主以外は採取を止められたという、「お止め」の呼び方が多くの人びとに語り伝えられています。

栖吉町内から長倉町、四郎丸町、学校町、千場町、川崎町、新保町、城岡町、北園町などを抜け



もう安心、改修終わった栖吉川

米寿の方々に記念品 簡易保険

郵政省の簡易保険では、米寿を迎えた八十八歳のお年寄りに、郵政大臣のねぎらいのことばを添えて記念品の湯のみを贈りました。

これは、同省が毎年十月の簡易保険月間に記念行事の一つとして実施しているもので、長岡市内では、城内町三丁目立野春寿さんほか五十三人のみなさんが該当。それぞれもよりの郵便局の局長さんから、湯のみを手渡されました。

お祝を受けた皆さんは、「長生きして良かった」と大へん喜んでおられました。

和気あいあいの ママさんバレー

十月十日の体育の日、ママさんバレーボール大会が開かれ、計二十五チームが参加して熱戦をくり広げました。(写真)

強いチームから順にA、B、Cの三つのランクに分れて戦い、時おり珍プレーが飛び出すなど、和気あいあいのうちに楽しい一日を過ごしました。

Cランクでは、中島小学校区のチームが、四郎丸Bや大島Bなどの強豪チームを破って優勝、みごとにBランク入りをはたし、すっかりごきげんでした。

日常生活のできごとや感情などを体の動きによって表現する、創作ダンスの研究が、新潟大学教育学部で尾崎昌憲先生の指導により熱心に進められています。これは、情操教育として小学校や幼稚園教員の養成課程には欠くことのできない教科ですが、学生の皆さんは、授業だけではあきたらず、「ガラス細工」「愛からの脱皮」などの多くの作品を制作し、11月6日に市立劇場で発表会を開くなど、個性あふれる創作ダンスと熱心に取り組んでいます。

国際的な視野を持った若者を育てようと総理府が派遣した海外派遣団に、長谷川吉仁さん(大横三島谷町)が果代表で選ばれた。九月十二日から一か月間、オーストラリア方面を訪れ、長谷川さんは「海外に出た日本の姿を再認識した。我々青年がもっと活躍しなければ」と意欲をもやしていました。

ほかにも、石坂和男さん(上条町)と堀進さん(大横一)の二人が果の青年海外派遣団に選ばれた。若者の活躍が期待されます。



新潟県中小企業設備近代化資金の貸付申請期間を延長

昭和49年度の貸付申請期間を昭和49年11月20日まで延長します。申込みは市の商工観光課(35-1122)へ。なお、申請状況により受付期間中であっても受付を締切ることがありますのでお早めに...

創作ダンスに取組む
新大教育学部

若い外交官
世界をかける